

二級水系  
流域治水プロジェクト

# 有田川流域治水プロジェクト

～有田みかんの生産地を流れる有田川における流域治水～

○有田川流域において、昭和50年8月洪水、昭和57年7月洪水（台風10号）と同規模の水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。



## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 洪水氾濫対策

有田川（堤防整備、堤防耐震補強、河道掘削、堰改築、護岸改修）  
天満川（護岸工）、お仙谷川（導流堤工）

### 内水氾濫対策

●下水道管渠の整備 ●雨水ポンプ場の増築・改築

### 土砂災害対策

●砂防堰堤工、溪流保全工 ●地すべり対策工  
●山腹工 ●溪間工

### 流水の貯留機能の拡大

●二川ダムにおける事前放流

### 流域の雨水貯留機能の向上

●ため池の事前放流・低水位管理  
●間伐等の森林整備 ●霞堤の保全

## ■ 被害対象を減少させるための対策

### 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫

●農振地域の農転の監視 ●土地利用規制の検討  
まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実  
●まちづくり活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 土地の水害リスク情報の充実

●水害リスク空白域の解消（支川等における浸水想定区域図の作成）

### あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供

●水位計・監視カメラ等の設置・増設 ●防災教育や避難訓練等の実施  
避難体制等の強化 ●ハザードマップの作成・周知

●タイムラインの作成・運用

●避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進

●避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化

●避難時間確保のための体制等の構築・強化

経済被害の軽減 ●排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。